

かじか

令和3年1月29日  
岩国市立美川小学校

やりたいこと いっぱいありますか？

教頭 岡崎 邦恵

1月は「いく」2月は「にげる」3月は「さる」。昔からよく使われる言葉で、1・2・3月はあつという間に過ぎていきます。気がつくとも2021年も1ヶ月たちました。1月はいき、もう2月です。のんびりしていると、本当にあつという間に過ぎてしまいます。

さて、学校では、中学校進学や新しい学年に向けて1年間のまとめをする時期になりました。3学期の始業式で、子どもたち一人ひとりが「毎日2時間は勉強します」「先生や友達の話をしっかり聞きます」など、「新年のちかい」を発表しました。その「ちかい」は今どうでしょう。「頑張っています」と言う子もいれば、「ちかい？・・・何だったかなあ」と言う子もいます。せっかくの夢や希望、目標は、描いただけではダメです。決意したら、やれるところから実際にやっていかないと実現しません。

絵本作家、ヨシタケシンスケさんの作品「このあと どうしちやおう」（ブロンズ新社）をご存じですか？男の子は、大好きだったおじいちゃんが死んだ数日後、おじいちゃんの部屋から1冊のノートを見つけます。ノートの表紙には「このあと どうしちやおう」と書かれています。「こんごのよてい」「てんごくにいくときのかっこう」「うまれかわったらなりたいもの」など、おじいちゃんは、自分が死んだらどうなりたいか、どうしてほしいかを、ノートいっぱいイラスト付きで書いていました。男の子は、「おじいちゃんは楽しそうだな」と思い、自分も天国に行くのが待ち遠しくなります。おじいちゃんは、どうしてこんなノートを書いたのでしょうか。もしかしたら本当はさみしかたのかな？死ぬのが怖かったんじゃないのかな？答えは、おじいちゃんにしかわかりません。男の子も、おじいちゃんと同じようにノートを作ることにしました。しかし、・・・

じぶんが しんじやった あとのことを かんがえようとすると  
いま いきているうちに やりたいことが  
いっぱい あることに きがついた

男の子が作ることにしたノートのタイトルは、何だと思えますか？「生きているあいだは どうしちやおう」です。

夢や希望、目標は、ただ描いただけではダメです。決めたら、やれるところから実際にやっていかないと実現しません。今、何をやるか、何ができるかをはっきりさせて、実行することが大切です。子どもたちには、（私たち大人も・・・）夢や希望に向けて、こつこつと努力を続けてほしいと思います。やりたいこと、やることがいっぱいある毎日にしてほしいと思います。

2021年はまだ始まったばかりです。



ヨシタケシンスケ作  
（ブロンズ新社）